

# 地域・文化・産業をつなぐ広域型シェアサイクルの導入

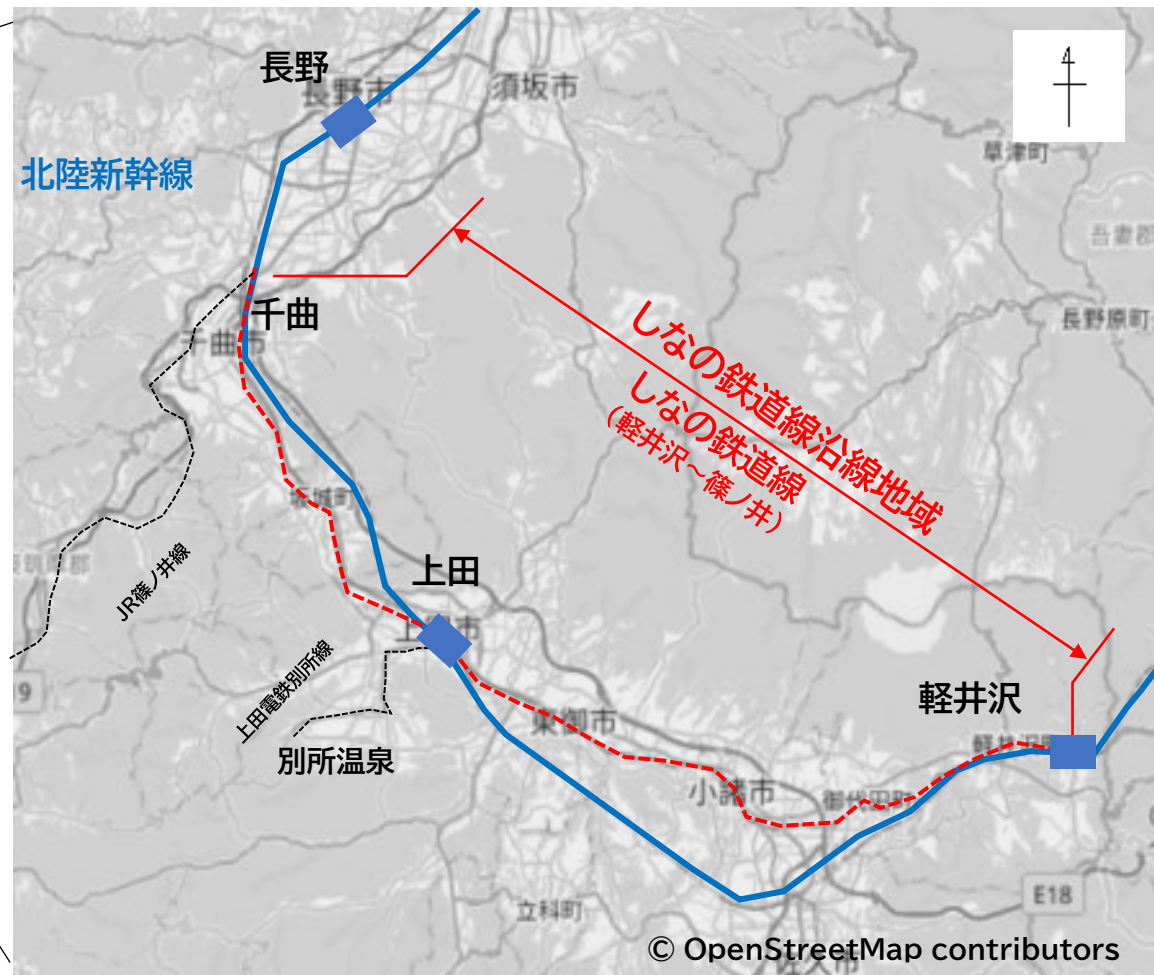
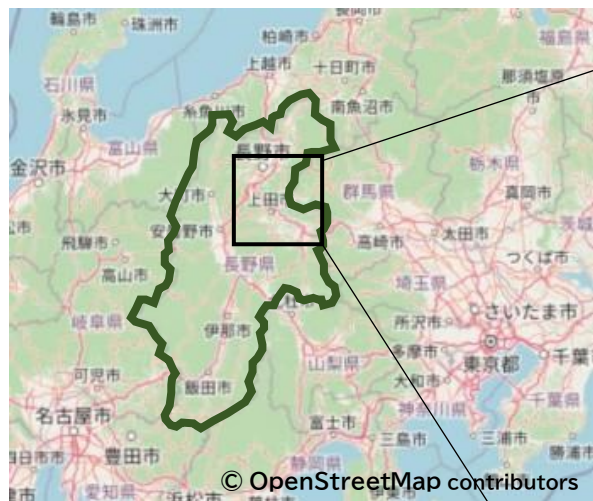
～暮らしたい！行ってみたい！味わいたい！地域を目指して～

長野県(UDC信州)・上田市・千曲市

上田地域シェアサイクル活用推進協議会

一般社団法人信州千曲観光局

# 取り組み地域の紹介



沿線地域には多数の地域資源が点在しています！

## ●北陸新幹線

東京 - 軽井沢 65分  
上田 85分  
長野 81分

## ●しなの鉄道

上田 - 戸倉 12分  
(東京から約2時間)



## ① 社会的ニーズへの対応（課題と目的）



- 1) 観光交流人口の増大
- 2) 地域公共交通の充実
- 3) 持続可能なゼロカーボン社会の実現

### 1) 観光交流人口の増大

「しなの鉄道線沿線地域」に多数点在している地域資(温泉、ワイナリー、棚田など)を回遊していただき、地域全体で観光振興(地方創生)を進めていきます。



### 2) 地域公共交通の充実

地域公共交通の充実や維持は地方の抱える大きな課題。観光振興の目的で整備する交通を、地域公共交通としても活用できるように仕組みを構築していきます。



### 3) 持続可能なゼロカーボン社会の実現

県や市町村が率先して、ゼロカーボンの推進に向けた取り組みを行い、「環境や文化、経済に配慮した地域」を構築していく必要があります。

#### 【これまでも様々な取組を実施(参考)】

- ・平成30年 全国で初めて「SDGs未来都市」に選定  
※上田市も令和4年に「SDGs未来都市」に選定
- ・令和元年 都道府県で初めて「気候非常事態宣言」を発出
- ・令和2年 東京都に次いで2番目にグリーンボンドを発行
- ・令和3年 「長野県ゼロカーボン戦略」を策定



**本取り組みでは、この地域を多くの方に回遊していただくこと、地域交通を充実させること、そして、ゼロカーボン社会を実現することを目的としています。**



## ② 創造性・革新性



- 1) UDC信州による広域調整
- 2) 鉄道+シェアサイクルの広域連携
- 3) シェアサイクルのゼロカーボン化を強力に推進

### 1) UDC信州による広域調整

令和元年8月に、長野県、東京大学、信州大学、UR都市機構、県内出版企業が連携して、全国初となる広域型UDC(アーバンデザインセンター)を設置。

UDC信州は市町村のまちづくりを支援する組織ですが、沿線自治体から地域活性化に関する相談があったことから、沿線自治体+しなの鉄道で組織する自治体連携勉強会を設置し、地域資源を活かすためのPJを検討。

⇒「広域型シェアサイクル」もこの勉強会で考案！

#### 全国初の広域型UDC

※築95年の古民家(空き家)  
をリノベーションしたオフィス



#### 自治体連携勉強会



## 2) 鉄道+シェアサイクルの広域連携

鉄道(しなの鉄道線、別所線)やサイクリングロード(上田~千曲~長野)と組み合わせ、複数自治体で相互利用が可能な**広域型シェアサイクル** ※国内ではあまり例のない取り組み

## 3) シェアサイクルのゼロカーボン化を強力に推進

「太陽光パネル+蓄電池」でCO2排出量0gを可能とする**環境配慮型サイクルポート**をドコモ・バイクシェアのサービスエリアで初導入

■ 太陽光パネル+蓄電池を設置したサイクルポート (イメージ)



■ 非接触充電システム (イメージ)



非接触充電対応自転車とポートによる自動充電を実現  
バッテリー切れによるお客様の利用機会損失を削減  
ドコモ・バイクシェアが全国で展開するシェアサイクルシステムに対応

2022年11月  
長野県上田市と千曲市で導入開始

### ③ 協働の実現性

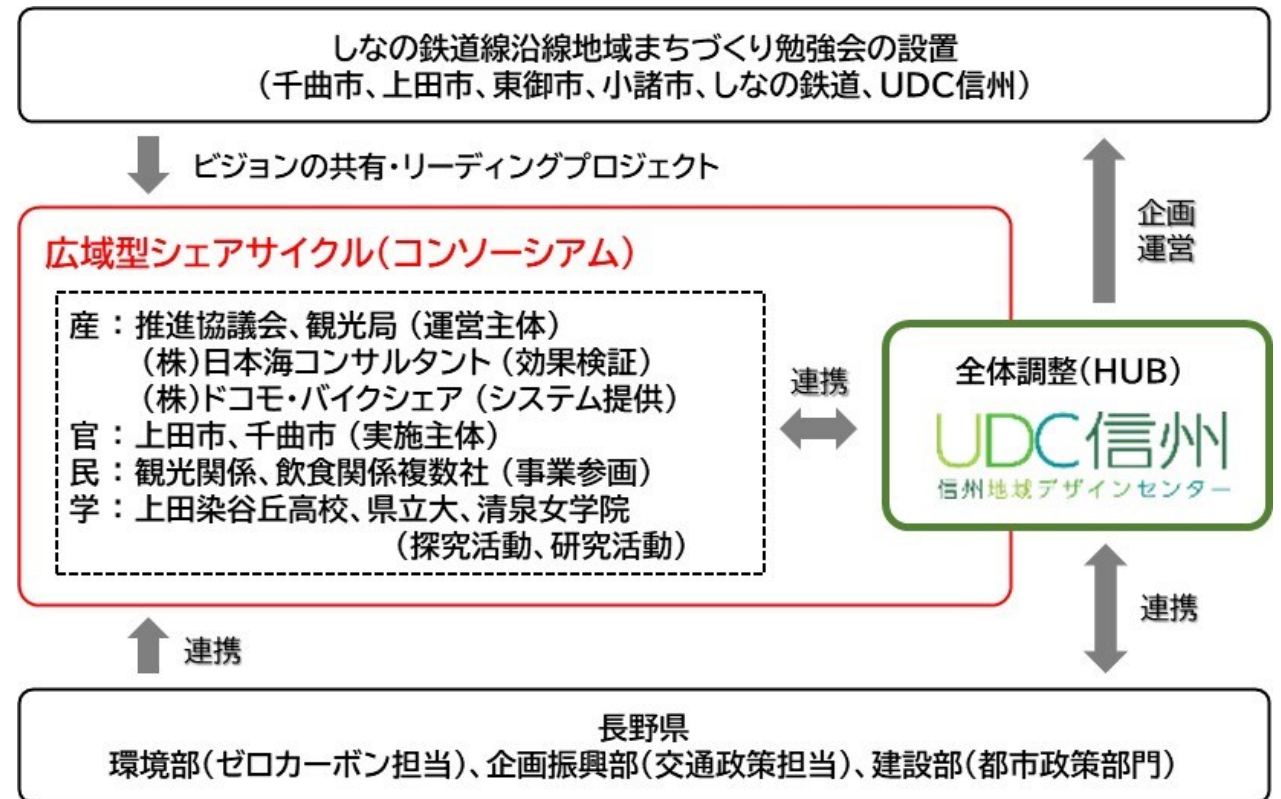


- 1) プロジェクト(PJ)に応じた推進体制の構築
- 2) 産官民学が連携した多数の取組み

#### 1) PJに応じた推進体制の構築

本取り組みでは、UDC信州が全体調整役となり、コンソーシアムを構築(右図)沿線では、PJに応じて別のコンソーシアムも構築しています。

毎月コンソーシアムの定例会を実施し、課題の共有や利用促進策等について検討



## 2) 産官民学が連携した多数の取組み

広域型シェアサイクルを活用した取組み(令和4年)

### 【上田市】

- 7/10(日) 和太鼓の祭典 & 信州上田・塩田平ノルディックウォーク
- 7/29(金) 「シェアサイクル×まちづくり」上田染谷丘高等学校の探究活動
- 9/23(金祝) 街中での謎解き企画(シェアサイクルとの連携)
- 10/1(土) シェアサイクルガイドツアー(日本遺産エリア)
- 10/1(土)~ 別所線沿線での謎解き企画
- 10/15(土) うえだ環境フェア(出展しシェアサイクルをPR予定)
- 11/5~6(日) 上田城紅葉祭り(VRを活用しシェアサイクルをPR予定)

### 【千曲市】

- 7月1日(金) 社会実験パンフレットを小中学生へ配布
- 7/16(土) ちくま市モビリティFES2022
- 7/22(金) 千曲市日本遺産サイクリングツアー(ずくだしエコツアー共催)
- 8/ 7(日)~ 真夏のワーケーションシップにおける温泉とのMaaS連携
- 8/10(水) 茅野市役所シェアサイクル視察
- 8/26(金) 千曲市役所ギャラリーでのPRブース設置
- 10/1(土) 千曲市うまいもん市でのPRブース設置
- 10/8(土) スイーツ巡りサイクリングツアー
- 10/22(土) 芸術の秋アート巡りサイクリングツアー
- 11/5(土) 紅葉パン巡りサイクリングツアー

⇒把握できないほど、年々増加中！

※それぞれが目的に応じて活用  
(新たな連携も創出)

産: 広告、イベントでの活用  
官: 公共交通の補完  
民: 通勤、通学、買い物  
学: 探究や研究



日本遺産を巡るガイドツアー



## ④ 展開可能性



1) 県外企業からの打診(ゼロカーボンの更なる推進)

2) 沿線自治体への波及

### 1) 県外企業からの打診(ゼロカーボンの更なる推進)

一次審査書類提出後に県外の企業から打診があり、**日本初の「舗装型太陽光パネルと蓄電池を使ったサイクルポート」の設置も決定!**

⇒シェアサイクルだけでなく様々な用途への拡大に期待しています!



日本でも一部活用が開始



フランスでの導入事例(企業様より提供)  
⇒日本では初の事例となる

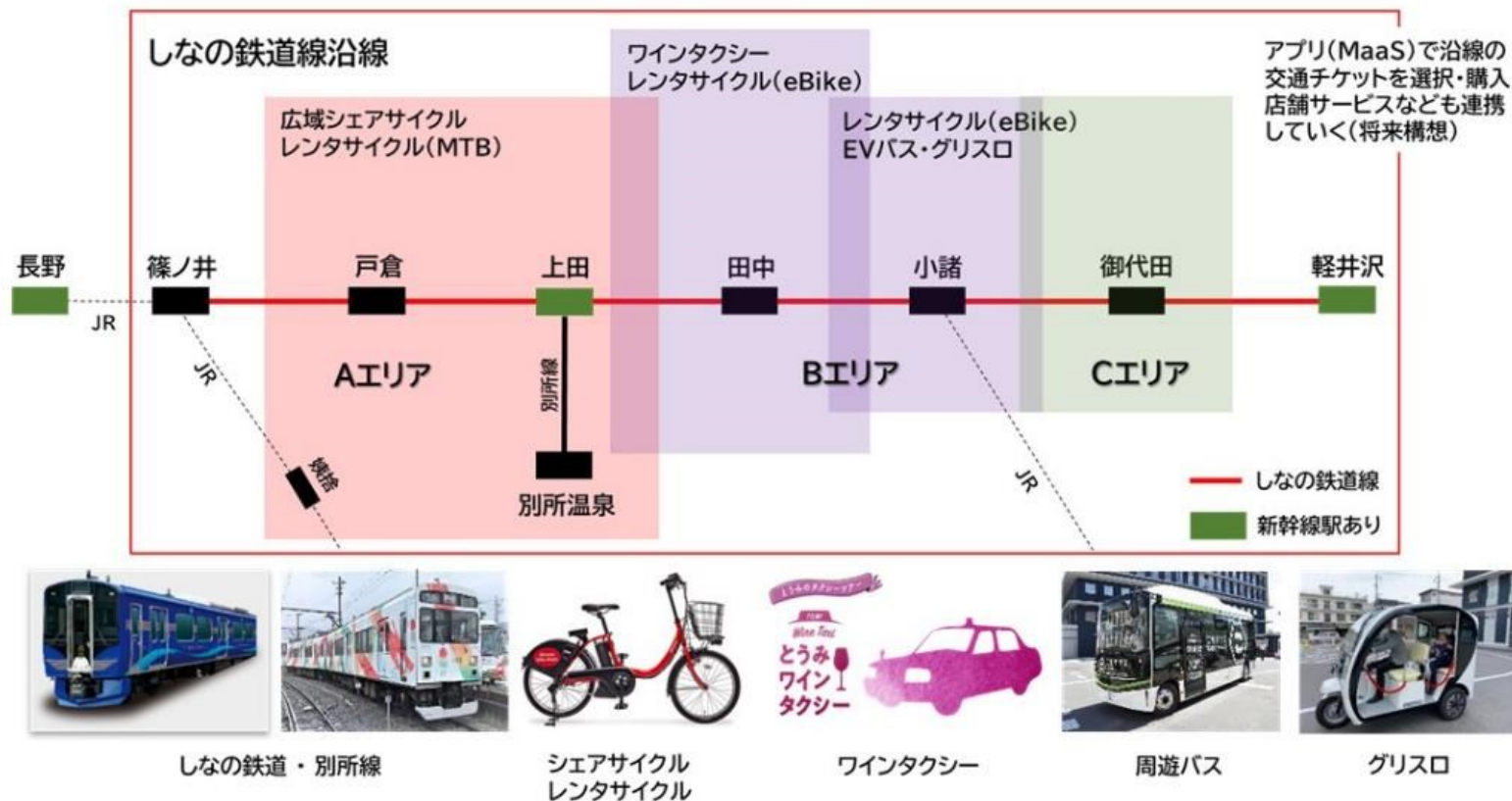


安全対策のために横断歩道のライトアップ  
フランスでの導入事例(企業様より提供)

## 2) 沿線自治体への波及

広域型シェアサイクルを導入したことで、沿線自治体で実証実験や検討、本格導入が始まるなど波及効果が出始めています。また、沿線以外の県内自治体も検討を始めています。

- ・令和4年4～5月  
長野市での社会実験
- ・令和4年11月～  
東御市での本格導入開始
- ・令和5年～  
しなの鉄道線沿線以外の  
複数自治体で検討開始



⇒将来的には沿線の交通を連携させた広域MaaSを実現！

## ⑤ 実効性(上田市での効果)



- 1) 地元高等学校の探究活動と連携
- 2) 「チケットQR」との連携

### 1) 地元高等学校の探究活動と連携

「地域を活性化させたい」「環境のことをもっと勉強したい」と問題意識を持った上田市の高校生と探究活動を実施。作成した「自転車で巡りやすいオススメスポットMAP」は、観光客や市民に活用されています。

⇒この活動はメディアでも取り上げられ、大きな反響を生みました！



高校生制作のMAP



市長への報告




後輩たちも探究開始

## 2) 「チケットQR」との連携

- ▶ 令和2年から上田市内の公共交通で実証実験中の、地域版キャッシュレスサービス「チケットQR」を活用し、シェアサイクルの1日パスやしなの鉄道のフリー切符が購入できるように調整中。
- ▶ 今後、公共交通+シェアサイクルに加え、飲食+体験などを結び付けたプランなども「チケットQR」から購入できるよう検討中。

### 【チケットQR】

有限会社和晃(坂城町)が開発した 地方版キャッシュレスサービス


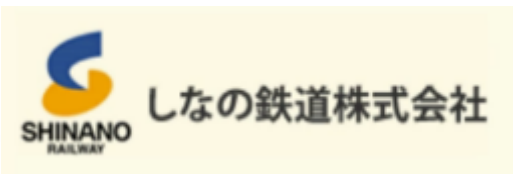


**利用可能な路線**

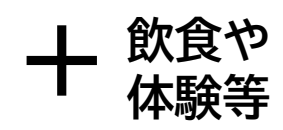
<p><b>上田電鉄 別所線</b></p> <p><b>上田バス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・菅平高原線</li> <li>・真田線(渋沢線)</li> <li>・傍陽線</li> <li>・豊殿線</li> <li>・久保林線</li> <li>・信州上田医療センター線</li> <li>・アリオ上田線</li> <li>・塩田線</li> <li>・西丸子線</li> <li>・信州上田レイライン線</li> <li>・上田市街地循環バス(赤バス・青バス)</li> </ul>	<p><b>千曲バス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・碓氷線</li> <li>・室賀線</li> <li>・青木線</li> <li>・鹿教湯線</li> <li>・武石線</li> </ul> <p><b>東信観光バス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中仙道線</li> <li>・丸子線</li> </ul> <p><b>JRバス関東</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長久保線</li> </ul>
--	--

※上田草津線・上田松本直行バス・丸子地域循環バス・オレンジバスは対象外です。

今回追加(連携)

今後追加(予定)



⇒地域版のキャッシュレスサービス活用することで、経済の地域内循環も目指しています！

## ⑤ 実効性(千曲市での効果)



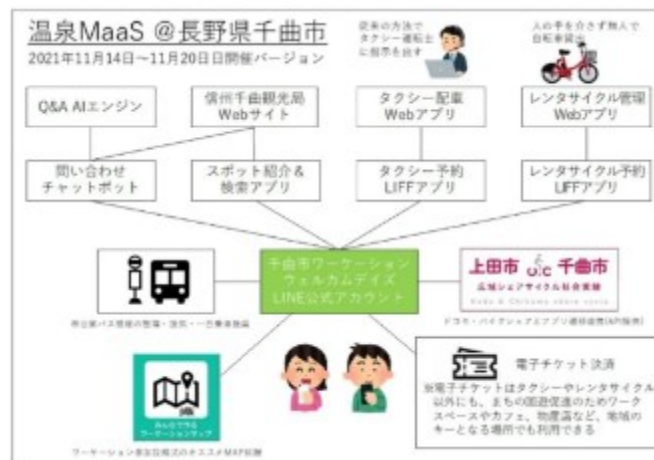
- 1) 大人気ワーケーション企画での活用
- 2) 観光協会主催の各種イベントでの活用

### 1) 大人気ワーケーション企画での活用

年間300人近い方が参加している「千曲ワーケーション」で活用。  
専用のアプリを使い、市内の様々なワークスペースにバスやタクシーで行ける「温泉MaaS」に追加され、  
地域での体験や交流、飲食等に活用されています。



千曲ワーケーション



温泉MaaSとのシステム連携



シェアサイクルの活用

## 2) 観光協会主催の各種イベントでの活用

観光協会(信州千曲観光局)では、民間事業者等と連携し、季節ごとにシェアサイクルを活用した各種イベントを開催し、多くの方が参加しています。

### スイーツ巡り

アシスト付

10月8日(土)  
秋のスイーツ巡り



定員  
10名

パフェ作り体験・  
うずらもち付

4000円 税込	最小催行 人数 5名	シェアサ イクル1 日PASS
-------------	------------------	-----------------------

### アート巡り

10月22日(土)  
芸術の秋アート巡り



定員  
10名

戸倉上山田温泉周辺の  
工場を巡ります

2000円 税込	シェアサ イクル 4h PASS
-------------	---------------------------

### パン屋巡り

シェアサイクルで千曲市を旅しよう



シェアサイクル  
ツアー  
美味しい千曲

⇒これらのツアーには市民参加も多く、シェアサイクルの日常利用や市民が地域を知るきっかけにも繋がっています。

## ⑥ 持続可能性



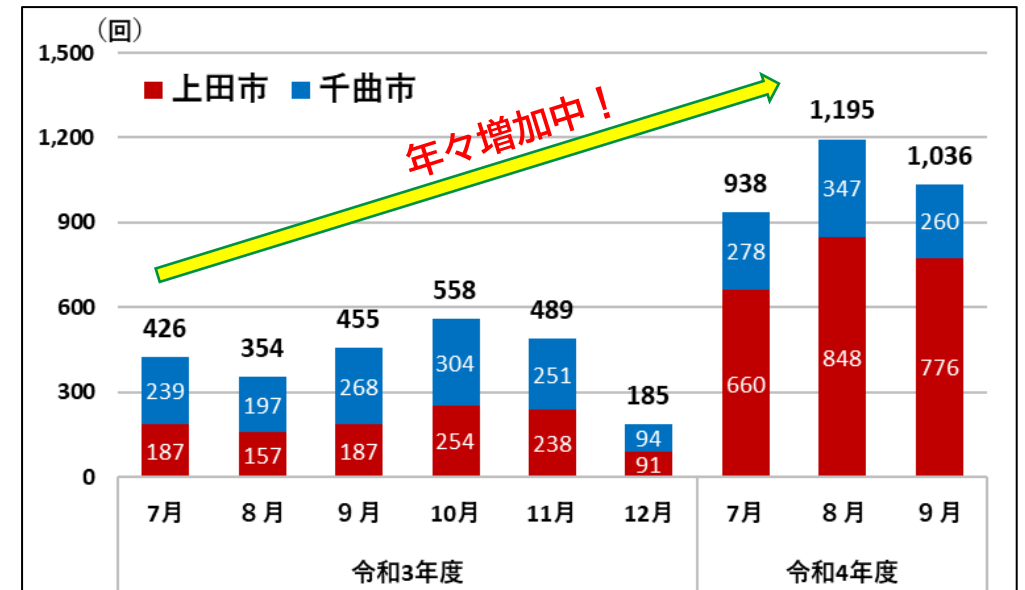
- 1) シェアサイクルの利用者が年々増加中
- 2) 市民利用が多く、地域公共交通を補完

### 1) シェアサイクルの利用者が年々増加中

広域型シェアサイクルは2年目に入り、利用者及び利用回数が増加中。ただし、現在は、県の補助金や各市の負担金等を活用しているため、今後は公費負担を減らせるように取り組んでいきます。

また、令和3年には企業からの寄附があったほか、令和4年には新たに広告収入も得られるようになったので、引き続き、利用収入以外の収入も増やしていきたい。

シェアサイクルの利用回数

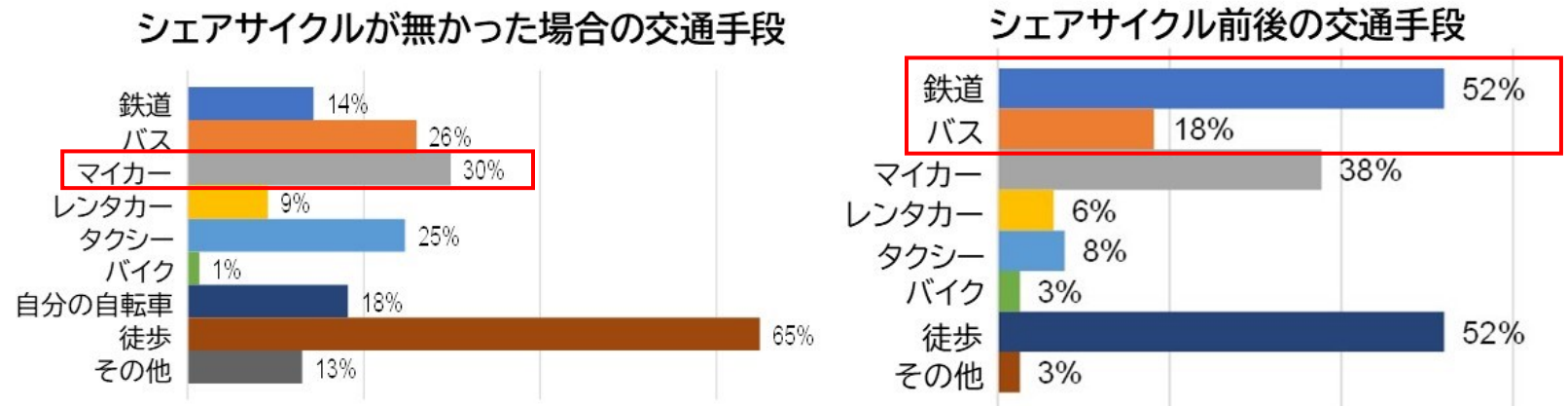


## 2) 市民利用が多く、地域公共交通を補完

- ▶ 令和3年はコロナ禍であったこともあり、観光客利用は想定よりも少なく、利用者の約8割が市民  
令和4年になり観光客利用も増えているが、依然として市民の利用率が高い
- ▶ 令和3年に実施した利用者アンケートでは、
  - ・マイカーから「シェアサイクル」に変えて通勤や買い物をする利用者が約3割
  - ・シェアサイクル利用前後の交通手段は、約半数が鉄道、バスも約2割おり、公共交通とセットで利用



シェアサイクルの利用者を増やすことで、地域公共交通の利用者も増加。  
また、マイカーからの乗り変えも多く、ゼロカーボンの推進にも寄与。





# 沿線地域のプラチナ社会化に向けて



広域型シェアサイクルの取り組みが、「観光交流人口の増大」「地域公共交通の充実」「ゼロカーボン社会の実現」につながることを確認しました！

今後も、地域、文化、産業をつなぎ、「環境や文化、経済に配慮した地域」を構築していきますので、ぜひお越しく下さい！